

JAITI 47

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

◆URL <http://www.jaiti.org/> ◆E-MAIL jaiti@janis.or.jp

JAITIとは、「公益財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1989年、農業を生活基盤とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる根幹」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

発行 公益財団法人 日本農業研修場協力団
 事務所 〒386-0502 長野県上田市武石沖605-5
 TEL 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

今日のジャイチ

ネパールの農村部を訪れて驚くことは、誰彼となく携帯電話を使いこなしている光景です。つい先年の頃は、「村には電気もなく、文明から離れた不便な暮らしを」と、ネパールの様子を伝える言葉を多く耳にしました。確かに未だこうした所もあるようですが、今、小さな家のトタン屋根には衛星テレビのアンテナが取り付けられ、子どもたちが歌番組を食い入るように見えています。

日本では、携帯電話などのネットによる子どもたちへの悪影響が問題視されています。

ゲームやメールに時間を費やし、依存症とまで言われる社会現象が起きています。ネパールでもビー玉ころがしのような子どもたちの素朴な遊びが変わっていくのでしょうか。

今号では、カカニ・ブライター学校が初めて送り出した卒業生からのお便りと、去る二月二十八日に七十二歳で逝去された松浦浩様の追悼特集を組ませていただきました。



▲新任のネラ先生が考案した朝礼に国の旗と赤黄青緑の旗を掲げる習慣

◆学校の様子

ジャイチがバシファント学校に続いて二〇〇五年に開校したカカニ・ブライター学校では、この春、初めてとなる卒業生を送り出しました。ブライター学校は、幼稚園二年と小学校五年制として開校し、質の高い教育を安く提供するのを理念に自立した運営が行われ、その後の教育熱の高まりや国の教育制度の見直しに伴い、中等教

育のレベルである十年制までの学校に引き上げてきました。地域の父兄で構成するPTA学校協力委員会の熱心な努力はもろんですが、ジャイチの活動を支えていただいている日本の支援者の皆さんのお力によるものであります。(卒業生からのお便り参照)

現在、十年制の学校に伴って施設の整備充実も進めてきており、二つの教室と科学室、コンピュータ室などを本校舎のホール内を改造して設置する工事が行われています。

レカリ・バシファント学校でも高学年生の選択科目のための教室の整備のため、政府からの助成金に加え、学校の卒業生が活動組合を設立し、建設用木材をこの組合から調達して安価に建設ができるよう努力をしています。

なお、SLC(全国統一卒業試験)の受験の状況は、カカニ・ブライター学校では、十四名の生徒全員が合格するという素晴らしい結果でした。一方、バシファント学校では二十三名の受験者のうち六名の合格でしたが、再試験により合格者数は増加する見込みです。(六月二十日現在)

◆理事会・評議員会の開催

理事会は、三月八日に平成二十六年度の事業計画予算について協議を行い、六月一日には平成二十五年年度の事業報告と決算について協議し、六月十八日の評議員会において承認されました。

なお、役員については次の皆さんによりご尽力いただきました。

《理事・監事・評議員名簿》

- (理事)
- 小林 淳 長野県長和町
 - 羽田健一郎 長野県長和町
 - 堀 邦昌 長野県上田市
 - 立岩 寿一 長野県長和町
 - 島田 基正 長野県上田市
 - 小林 弘 神奈川県大和市
 - 丸山 敏和 長野県長和町
- (監事)
- 羽田 俊祐 長野県長和町
 - 土屋 陽一 長野県上田市

(評議員)

- 井出 正三 長野県長和町
- 井出 守雄 長野県上田市
- 小林 裕 神奈川県横浜
- 直井 保彦 長野県上田市
- 中島 邦夫 長野県上田市
- 黒沢 勇人 長野県長和町
- 森田 繁良 長野県長和町



▶グルン氏よりSLC試験の説明を受けるブライター学校の受験生たち

平成25年度 事業決算報告	
科目	(単位:円)
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用益	3,873,556
特定資産運用益	781,884
受取寄附金	1,908,940
雑収益	47,328
2. 事業活動支出	
開発途上国への農業技術の向上と普及、農業・学校団体への助成・支援及び農業・教育の啓発事業	5,822,832
3. 管理費支出	1,079,226
事業活動収支差額	-290,350
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入	54,521,505
2. 投資活動支出	
投資活動支出	54,500,000
投資活動収支差額	21,505
当期収支差額	-268,845
前期繰越収支差額	5,313,932
次期繰越収支差額	5,045,087

▼護岸工事が大々的に展開されて川も心なしか流れが良くなっているように感じる



この間に、経済面でも積極的な形が現れてきています。五・二%の経済成長の方向にあり、納税者たちの人数も積極的に増え、市場も明るい見通しが続いているようです。第二国際空港建設の投資の段取り及びカトマンズとタライ(平地)を結ぶ高速道路の建設についても、著しく進展したと報じています。(ジム・ラルゲル)

コイララ政府の 百日間

昨年秋の制憲議会議員選挙において、これまで第一党であったマオイストが大敗し、代わって第一党となったネパール会議派(ネパール・コイララ党)のシュシル・コイララ氏が今年二月十日に首相に選任されました。コイララ氏を代表とする政権が公約とした、百日以内での憲法作成の国会意見のとりまとめ、平和と安全、迅速な国家の発展・建設活動の取り組みなどの役割を効果的に果たしていることを、政府が構成されてから百日を経過した五月二十五日に開かれた記

者会見で発表しました。政府の報道官によると、憲法作成の環境を整えられたことが新政府の最も重要な成功だと述べています。制憲議会による憲法作成の日程も出来ており、今後一年以内に政治的な同意を取り付けて憲法作成が完了するものと思われまます。また、現地レベルの選挙もなるべく早く行うために政党間の合意が必要として進めて行くことも述べています。報道官によると、現地レベルの選挙の準備もほぼ整ってきており、闘争による事件の解決および統一・友愛委員の結成のための法律を公布したことも政府の発行した会報で触れています。

カカニ・ライター学校の 生徒寄稿文



ライター学校 に学んで



《スティブ・シュレスタ》

短い間でしたが自分の意識を高めることができました。

きれいで平和な環境で近代的な学習方法を導入した授業が行われるのが、この学校の特徴です。

また、生徒たちは規律を守り勤勉であり、教師たちは協同活動に取り組み、授業ばかりではなくそれ以外

の活動にも積極的で、ヌワコット郡の中ではモデル学校として知られています。僕は二〇七〇年(二〇一三・二〇一四年)のS L C試験を受験しました。自分の学力が向上してS L C試験を受験することができてとても嬉しかったです。

このS L C試験が終わると学生生活も終わります。幼い頃から通った学校と離れると同時に一つの家族のように暮らしていた先生たち、同級生たちと別れるに進学しなければならぬ自分で自分に言い聞かせています。

自分がお世話になった学校のため、将来何かにお役に立つために頑張りたいと思っています。この学校の設立にご尽力されたジャイチ組織と日本の支援者の方々に感謝いたします。大勢の支援者の皆さんのおかげで私のような数多くの子どもたちが教育を受ける機会をいただきました。私はこの学校の卒業生としていつかこの学校の発展のため協力したいと思っています。この学校の教育システムを近代化させたり、この学校の教師になったりしてでもこの学校をネパール中でも有名になるよう努力したいと思っています。

もっとよい学校に



《スマン・ヨンザン》

人生の十年間、この学校で過ごせたことを誇りに感じています。

僕が学んだこの学校は、現在郡の中で一番良いモデル校となっています。嬉しいことに通りかかる人たちが観光客からも注目され、子どもからお年寄りまで皆が惹かれています。施設、設備、教材、経営などなどすべてが備えられた完璧な学校の一員として僕は誇りを感じます。胸を張って言います「僕はこの学校の生徒です。」と。

S L C試験後、もう学校の門まで行けなくなった僕は悲しいと感じています。人生の一番楽しい時は学生時代と言われます。友達と一緒に楽しく交わり責任というプレッシャーもなく自分の目標に向かって過ごしていたあんな長い時間が過ぎたことに気がつかないでいました。その学校へまた行きたくなるけれど、そう考えても今は自分の目標に

進むことが僕の仕事であり義務です。

僕の学校は最高の学校です。しかし、もっと良い学校にするためには改革も必要だと思います。まず、学校内の平和を保つため先生方が規律正しくなることだと思います。そうすれば生徒たちにためらわぬ物事を忠告することが出来ます。生徒それぞれの話しや願いをちゃんと受け止めること、態度の悪い生徒たちについて厳しく忠告するルールをつくる必要があります。善悪の判断ができるように、愛情を込めて生徒を愛する先生たちがいれば学校は必ず良くなります。僕はそう思います。

また、学校に関係する皆さんによる、学校の設備、教材の発展についての協力も必要だと思います。今年、初めてこの学校のS L C卒業生が出たことは嬉しいことです。将来キャンパスに発展することができれば、この地域の子供たちの明るい将来に大きく貢献するでしょう。学校に運動場と理科実験室も備えられたらもっと良かったと思います。最後に、この学校に理論的な教育だけでなく専門的な教育も加えられるよう願っています。

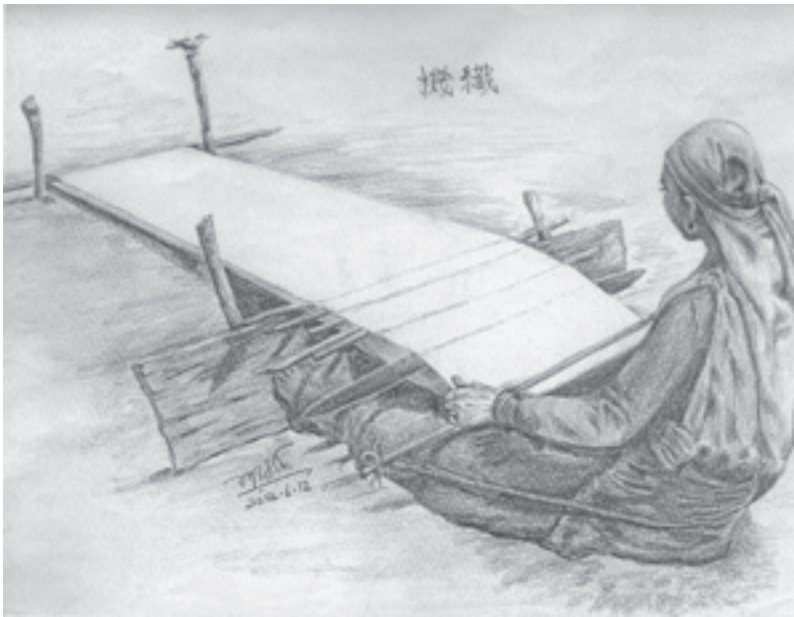
ご協力有難うございました

この六ヶ月の間に、左記の方々より、ご支援を戴きました。お礼申し上げます。

2013年12月21日〜2014年6月20日迄 順不同敬称略

◆ 人的協力

- 〈埼玉県〉 常陸民生ネパールツアーズグループ
- 〈東京都〉 滝和美、田山豊實、長井泉、丸山大樹
- 〈神奈川県〉 小林みよ子
- 〈長野県〉 白井千鶴子、柿島明子、菊池健介、株式会社北澤土建、清住栄子、有限会社佐藤新聞店、有限会社大和印刷、滝沢千栄子、田村由紀



「機織」 絵 マン

- 子、富田万里子、長野合同経理センター、根岸厚次・真貴子、松久よし子、宮入正法、ヒマラヤを愛する会
- 柳澤利文
- 〈海外〉
- ネパール ホテルサンセツトビュー・アルジュン・シン／絃子・トラチャン

◆ 基金・維持費・事業費

- 〈北海道〉 小野倫夫、串田長久、千葉八洋、中川洋子、水口馨
- 〈宮城県〉 森甲志
- 〈茨城県〉 魚津慶子、大井英臣、折本拓郎、藤井英雄
- 〈栃木県〉 森聖哉
- 〈群馬県〉 塚越雅幸、土屋邦夫、堀越利通、割田甚一
- 〈埼玉県〉 小沢昭信、小野美津男、斉藤節子、須田清、坪田美恵子
- 〈千葉県〉 青木洋、高橋節子、竹部愛子、武藤やよい、吉村芳江
- 〈東京都〉 池田圭伸、石田昭夫、今井正史、株式会社ウエック・トレック稲村道子、上原真知子・一茂、大和田一紘、岡田信一、小川陽子、尾身

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何時も心に留めて下さり、感謝申し上げます。皆様方からのご寄附に対し、所得税法・法人税法上の優遇措置を受けることができます。以下に説明致しますので、今後ともご協力をお願い申し上げます。

ジャイチの基本的財源として

皆様よりいただいた寄附金を、ジャイチの公益活動を維持・継続していくための財源として、受け入れるものです。寄附金の用途・内容については、ホームページ記載の決算書等により、皆様にお知らせ致します。その中より余剰資金が発生した場合は、今までどおり基金として繰り入れていたします。基金は、ジャイチの財源を安定させ、ジャイチの活動をよりいっそう強固な活動につなげることが出来ます。

所得税法、法人税法の優遇措置

公益財団法人は、すべて税制上の特定公益増進法人となり、寄附していただいた金額は、下記の寄附金優遇措置の対象となります。

①所得控除
その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額が総所得金額等、退職、所得金額又は山林所得金額より控除できます。

②税額控除
その年中に支出した寄附金の合計額より2千円を差し引いた金額の40%が所得税額から控除されます。

上記優遇措置を受けるには基本、確定申告が必要です。(税法の改正等がありますので、詳細は税務署にお問い合わせください。)

郵便振替・銀行振込での募金

- お振込先
 - ◎郵便振替 00510-4-65434
 - ◎銀行振込 八十二銀行 丸子支店 (普)420577
 - 座名 公益財団法人 日本農業研修場協力団

カカニ・ブライター スクールの思い出



《アシッシュ・シュレスタ》

この学校に通学したことはとても良かったと思っています。生徒たちはなかなか遠くからも通っています。学校は設備も整っており、先生たちも授業のための知識や経験を持っていて、楽しい環境の中で生徒たちに新しい科目を教えるのに一所懸命頑張っています。学

生たちも皆まじめに勉強します。親たちも出来るだけ協力してくれれます。歌と踊りの技を教えてくれたり勉強以外に他の教科外のプログラムも一杯行います。学校は緑がいっぱいできれいな環境にあるので、観光客もたくさん訪れます。ですから私たちのこの学校はカカニで一番の学校として知られています。

しかし、僕はブライター学校はまだ完全な学校ではないと思っています。この学校に図書館はありません。科学実習室も建設中の状態です。周辺の環境も悪くなっています。この学校を良くするために皆で頑張らなければいけないと思います。時々木を植えるようなプログラムを行ったり、Road-drama (道路景観づくり) などにより環境意識を向上させるようにしていけば、私たちの学校は、ヌワコット郡でも一番の学校になるに違いないです。

現在、この学校にスクーパバスは一台しかありません。もう一台増やせば生徒たちの人数も増えるでしょう。時々PTA会議を開き、親たちの提案とアドバイスも受けるべきです。こうすれば、学校の運営や新たな計画の達成に役立ちます。僕はこの学校で勉強し、

嘉一・恭子、鎌田はなよ、河野節子、黒田秀基、木村武彦、木村慈子、滝和美・三希子、高橋伸迪、西岡巖、西重正博、二瓶幸子、野村明賢、正田英子、松島長久、松田重箕、三木三江子、守屋照美、山縣敏子

〈神奈川県〉
小林みよ子、島田正義、十河三郎、田中光弘、中川洋、丸山進治

〈長野県〉
井出守雄、有限会社うずら家、奥野恵子、小埜沢浩一、金子元昭、菊池健介、北澤純一、久保田寛人、小林淳、小林展子、斉藤一美、佐々木牧夫、篠原秀一、島田基正、鈴木佳快代、有限会社大和印刷、滝沢千栄子、武田順治、立岩寿一、土屋信子、株式会社東信ジャーナル井出正義、株式会社長門牧場代表取締役小林久雄、中澤知史、中島英男、長野県連合青果株式会社、中村彰、ネパールの曼荼羅・仏画展、細田圭一、松久よし子、増田シゲミ、松原邦彦、丸山幸雄、宮澤令行、宮下静子、民主党長野県第三総支部、横関絢子、依田窪南部ライオンズクラブ、ジャイチ事務所

寄付金箱
〈新潟県〉
帯瀬憲五、小森修

〈岐阜県〉
庄村敏
伊熊武夫、山梨加代子
〈愛知県〉
伊藤正裕、大森森次、尾上昇、小園四男、滝本美恵子、藤井久生、本田忠彦、村瀬政子、安田美奈子
〈滋賀県〉
岡田千尋、木田信次、ふくろう基金玉田盛一、松延宏昭、宮川一男
〈大阪府〉
北岡満、三尾和子
〈兵庫県〉
新海泉、玉岡昇治、匿名の方
〈和歌山県〉
中前孝啓
〈福岡県〉
山下きよし
〈大分県〉
寺澤侃
〈鹿児島県〉
保拓夫

◆寄附品

〈北海道〉
中川洋子
〈宮城県〉
林教子
〈群馬県〉
島田寛治
〈東京都〉
池田照子、植松こずえ、小川陽子、小澤久美子、尾身

恭子、川口律子、佐瀬萬亀、滝和美、西重正博、藤本紀子、山縣敏子、吉田赫子、渡辺誠三
〈神奈川県〉
田代譲
〈長野県〉
臼井千鶴子、有限会社美ヶ原燃料、加藤美幸、菊池健介、清住栄子、黒田悦子、小林久雄、斉藤一美、新貝昭文、有限会社大和印刷、滝沢英子、滝沢千栄子、田村由紀子、長門小学校子育て委員会、舟木公栄、宮下静子、松原邦彦、宮崎典子、矢島榮子
〈福井県〉
金森朗子
〈愛知県〉
白澤たづ子、港西小学校
〈滋賀県〉
苗村善和
〈兵庫県〉
丸尾信
〈福岡県〉
山下きよし
〈佐賀県〉
平尾紀美子
〈台湾〉
皆川恵娟

ありがとうございます。今後とも宜しく、お願いいたします。



下校時、グラウンドに集合した生徒たち

この学校から将来の階段を上ることを学びました。ですから、僕はいつでも必要な時この学校のことを助けたいと思っています。学校を運営することは簡単なことではありません。いろいろな時いろんな問題が起きるのです。そのような時に僕はいつでも助けてあげるよう待っています。僕が生きているまでこの学校のために活動をしたいと思っています。

この学校では現在十年生までの勉強ができます。もし、十二年生までの勉強ができるのであれば他の所に行く必要はなかったのですが、残念ながらそれがありません。

将来、僕の弟・妹たちはこの学校で十二年生まで勉強ができるようになることを願っています。



レカリ・パシファント
学校生活は
一生の思い出

《エリシュルンバ》

僕は五歳の幼い頃から一時間位ぐらい歩いてレカリ・パシファント学校に通い始めました。学校の上の方にはマクワンプール郡で一番標高の高いシンパンジャング(二四八八m)があり冬はとても寒いです。そして学校は北西にむいた斜面にあるので日当たりが悪く、頂上のシンパンジャングとダマン辺りに雪が降ると、そこから流れてくる冷たい風で手の指が冷えて、鉛筆がつかみにくくなることもあります。

そんな時、僕たちは薪を集めて火を焚いて手を温めていました。また、学校まで歩いて行くことが大変な時、お兄さん、お姉さんに背負ってもらって行ったことは一生の思い出になりました。

幼い頃、僕は友達といたずらが多くて、その癖をなくすために先生たちは僕に

しよつちゅう忠告してくれました。僕にとつてそれは嫌なことでしたが、今考えてみるとそれは僕のためでした。「生んだ親より運命くれる先生の方が大きい」(翻訳のまま)ということわざがありますが、その意味がわかる感じがします。

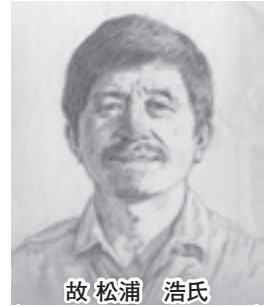
歩いて一時間かかる距離の学校に、足が痛くて時々遅刻したとき先生たちに叱られると辛い気持ちにもなりましたが、先生たちもい人ばかりでしたのでこうして卒業することが出来ました。学校が遠くて大変でしたが、学校にはたくさんの仲間がいて天国みたいで楽しかったです。

那が行った試験で一番良い成績をとり、賞をもらった時のことは今でも新鮮で一生の思い出になりました。

このように、僕の学生時代はあつという間に過ぎました。その時どきではいろんな苦勞もしたけれど今は満足しています。この学校で過ごしたことに誇りと同時に責任も感じます。

学校での十年間の経験や体験は、これから社会のため、組織のため、国のため、そして国際発展のため役立てられるといいです。

松浦 浩さんの追悼



故 松浦 浩氏
(マン・バドワール・シュレスタ画)

ジャイチの事業の柱でもあるカカニ実験研修農場の成果には、松浦浩さんの存在なくして語ることはできません。

松浦さんは、神奈川県下の農協の農業技術員として

松浦さんとの思い出

マン・バドワール・シュレスタ
(栃木市在住)

農場作業で日焼けして現地の人たちと変わらない肌色。そしてカカニの方言まで話す松浦さんと初めて会ったときは、とても日本人には見えませんでした。私は一九九五年九月からジャイチネパールに勤めました。国際的なボランティア組織での仕事は私にとって初めての経験でしたので、仕事を覚えるまで松浦さんには大変お世話になり

長年勤められ、早期に退職された後の一九九一年、その経験を請われて、ネパールの農山村部の農業開発事業に関わることになりました。当時のネパールの農家のほとんどは、稗、トウモロコシを中心とした自給自足の農業が行われており、農業収入が貧弱な家庭では子どもたちの教育を受けさせる機会にも恵まれない状況でした。こうした状況を改善するため、ジャイチが取

り組んだのが、カカニ地区での研修農場でした。松浦さんは、一九九八年までの足掛け八年間、現地での地域の農民と一緒に汗を流し、手作業で畑を整備して地域に適する農作物の試験栽培を続けました。特に、研修農場からカカニ地区に栽培が広がっているイチゴは、そうした松浦さんの努力が実った証と言えるものです。そのことが、農家の収入増大をもたらした。子どもたちが教育を受けることのできる環境の整備にもつながっているのです。

うになりました。そして一キロ二〇〇から三〇〇ルピー(当時の日本円で六〇〇円くらい)で農場内で売り始めました。ネパールの果物ではこの単価は初めて一番高いものでした。それをじつと見ていた周辺の農家たちが「来年は苗を買おうから分けて欲しい」と頼みに来ました。そして、十何人の農家たちが苗をもらって栽培を始めました。その次の年も何十人かが農場にイチゴの苗を頼みに来ました。三年目には誰も来ませんでした。それは、前年栽培を始めた農家たちが、自分で苗を増やして新しい農家たちに売っていたのです。そうして数年のうちにかカニ地域の何百人の農家たちは積極的に換金作物となるイチゴの栽培をするようになっていきました。

松浦さんの次の挑戦プロジェクト「ポカラでイチゴ栽培研究」は残念ながら体調不良により叶いませんでしたが、カカニ地域はイチゴ村と呼ばれるようになりました。松浦さんが長年流した汗のおかげで、経済的にも豊かになりました。松浦さんが植えたイチゴのランナーは代々まで延びて行くに違いありません。私たちの心に松浦さんの思い出はいつまでもにこりと生きているのです。お世話になったネパールの人たちとともに松浦さんの靈魂の永遠平和を祈っています。

《共に研修農場で働いたカミツエリンさんは当時を懐かしみ》
よく働いた人でした。仕事が終わって夕方になると一緒にお酒も飲みました。気持ちのやさしい人でしたが、仕事には厳しいところもありました。朝、仕事の始まる時間に遅れてくる人がいると、もう来なくても良いと追い返したことがあります。時間にルーズなネパールの人たちに、決められたことはきちんと守るようにしてほしいという、強い願いがあったのでしょうか。ご冥福をお祈りします。

ました。必要なこと以外はあまり喋らない静かな態度の松浦さんは、いつも笑顔で現地の人たちに溶け込んでいて皆に好かれていました。ネパールのご馳走に「マス・チュウラ」と言う人気の食べ物があります。マスは肉、チュウラは干した「打ち米」のことです。この言葉がマツウラとよく似ているので、宴会で仲間たちからマスチュウラさんと呼ばれて大笑いしていました。

作物の研究に打ち込み、現地の研修生たちは土日・祝日に休んでも自分は休まずに畑でいつも何かをしていました。ある年、松浦さんがイチゴ畑の面積を広げました。ということは、長年試験を重ねた結果としてイチゴが成功したのです。農場の畑に植え残ったイチゴの苗を研修生たち始め、その周りの農家たちに無料で差し上げようとしたのですが、研修生も含めて誰も受け取らなかつたのです。「こんな面倒くさい栽培方法は自分たちには出来っこない」と言われました。

栽培方法だけではなく、その販売までの流れをモデルとしてやって見せたのです。それが松浦さんの長年の努力の素晴らしい結果だと思えました。松浦さ



▲1993年秋、イチゴの試作を始め研修生に指導する松浦さん(左)



▲松浦さんへのお悔やみのメッセージを手にしたカミツエリン氏とご家族

＊お悔やみのメッセージ
「松浦さまの奥様へ ナマステ。ご主人様が亡くなられて、本当に悲しいことです。一緒に働けて、いろいろ教えていただいたこと、忘れられません。天国へ出発された命は、ずっと平和で過ごせるように、また、奥様が悲しみを乗り越えられるため祈ります。」
カミツエリン・シエルパと家族より(カカニ・ネパール)



■日程
十月三十日(木)から
十月八日(土)の八泊十日
■旅行代金
お一人様二十八万円
全行程中の交通費(航空機
はエコノミークラス)、宿泊、
食事を含まず。但し日

募集

第19回

「JAITIネパールの農場と学校訪問の旅」

日	月日	曜日	旅程
1	10月30日	木	羽田空港から香港経由カトマンズへ
2	10月31日	金	ネパール第2の都市ポカラへ
3	11月1日	土	ポカラ滞在 ミニトレッキング
4	11月2日	日	お釈迦様の生誕地ルンビニへ移動
5	11月3日	月	ダマンへ移動
6	11月4日	火	レカリ・バシファント学校訪問後カトマンズへ
7	11月5日	水	ブライター学校・農場訪問
8	11月6日	木	マウンテンフライト・市内観光
9	11月7日	金	市内観光・夜出国
10	11月8日	土	香港・羽田空港へ

本国内の交通費と海外旅行保険は別途になります。
■申し込み期限
九月一日(月)
最小催行人員十名。定員になり次第締め切りになります。
■問い合わせ、申し込み方法
電話・FAXにて左記にお問い合わせ、申し込みをお送りいたします。
■企画 ジャイチ事務局
長野県上田市武石沖六〇五五
TEL 〇二六八八五三三六五
FAX 〇二六八八五三三三八三
■主催(株)西遊旅行
東京都千代田区神田神保町
二二二一 観光庁長官登録
旅行業第六〇七号日本旅行
業正会員
TEL 〇三三三三三三七八三
FAX 〇三三三三三三七〇六二八

事務局だより

▼ジャイチ

- 1月 ・機関紙46号の作業と発送(約1300通)
- 2月 ・平成26年度事業計画・予算案の作成
・理事長・常務理事がネパールへ総合指導及び農業指導
- 3月 ・8日理事会開催(事業計画・収支予算等の承認、職務執行状況報告)
・内閣府へ平成26年度の事業計画書等を提出
- 4月 ・決算準備
- 5月 ・上田市に法人税の減免申請書を提出、6月13日承認
・平成25年度決算監査の実施
・ネパールの曼荼羅・仏画展(ヒマラヤを愛する会主催)に出席(上田市)
- 6月 ・理事会開催(平成25年度事業報告・決算の承認、職務執行状況報告)
・定時評議員会開催(平成25年度事業報告・決算の承認 評議員、理事及び監事の選任)
・理事会開催 代表理事及び常務理事の選任
・長野法務局へ評議員、理事及び監事の変更登記
・内閣府へ平成25年度事業報告書等と評議員、理事及び監事の変更届け提出
・機関紙47号企画・編集

バザーのお知らせ

- ・10/11 丸子セレスホール
- ・11/9 あいとびあ白田

▼ジャイチネパール▼

- 1月 ・冬休みに入る・スポーツ試合大会
・予算の作成・SLCの予備試験
・レカリ・バシファント学校で運営費確保のためイラクサを集め乾燥の作業
・理事会開催
- 2月 ・ブライター学校ピクニック
・両学校定期試験実施
・バシファント学校敷地で現地の人々・学生の無料婦人科と歯の治療キャンペーンが実施
・日本スタッフの総合指導による現場訪問案内と打合せ
- 3月 ・学年末の最終試験
・SLC試験レカリ・バシファント学校23人、ブライター学校14人受験
・ヘタウダ郡教育事務所より75万ルピーの補助及び保護者の支援でバシファント学校の9.10年生の選択科目用教室を建設
・ブライター学校初の卒業生
・インド等指導のNGOの福垣氏カカニのいちご視察
- 4月 ・成績優秀者表彰式
・新学期レカリ・バシファント学校499名、ブライター学校303名の生徒在学
・ブライター学校ホール内に教室等を改築
- 5月 ・両学校の記念日式典実施
・事務所1階新たに賃貸契約をする
- 6月 ・SLC試験 ブライター学校14名全員合格 バシファント学校23名中、6名合格 内5名は追試受験の予定



▲ネパール曼荼羅の世界を主催の柳澤さん

曼荼羅の世界に

ネパールの魅力を大勢の人に知ってもらいたいとの思いから、去る五月二十日から二十五日に上田市で「ネパールの曼荼羅・仏画

展」が開かれました。主催したのは、上田市にあるNPO法人「ヒマラヤを愛する会」の柳澤利文さんで、ジャイチも活動紹介の場を設けていただきました。柳澤さんは、会社を退職後に訪れたネパールの人たちの触れ合いの中で、ネパールのために何かできないかと思うようになり、今回、現地で集めた曼荼羅や仏画約三十点を主に、ネパールの農村風景写真も展示しました。来場者は、細密な筆使いによる曼荼羅や仏画の一点一点を興味深く見入っていました。

物故者のお知らせ

ご冥福をお祈りしますと共に今までのご支援に感謝いたします。
松浦 浩様 神奈川県大井町 十四年二月
舟波 康子様 東京都練馬区 十四年二月
山口 孝行様 長野県長和町

お願い

ネパールへのジャイチの荷物運搬(主に学校の布カバン・文房具)のお手伝いをしてくださる方ご是非ご連絡下さい。

編集後記

山の日が制定されました。中高年の方々や山ガールと言われる山に関心を持たれる皆さんの登山は、ちょうどしたブームになっていますが、一頃に比べると若者が山の頂をめざして汗を流す姿は少なくなっているようです。この制定により、山との係わりが深まることを期待したいものです。

娘さん良く聞けよ♪山男にや惚れるなよ♪こんな歌がありました。山ガールの神々しい山並みを思い浮かべながら、山ガールに惚れてみるのもいいかな。山の神はどうするか。くれぐれも遭難にはご留意を。

集めています	
文房具	定規/三角定規 ▶レカリ・バシファント学校とブライター学校用
毛糸	帽子を編みます 編みぐるみ・タワシなど ▶レカリ・バシファント学校1・2年生用バザー出品品を作ります
布	通学カバンを縫います ▶レカリ・バシファント学校低学年用
書き損じハガキ	切手に替えます(未使用ハガキ・年賀ハガキの余りも歓迎) ▶通信費として活用します。4月に39,003円分の切手と交換しました。
古切手	換金します(未使用切手も歓迎) ▶ネパールの両学校の運営費(切手の周りを5ミリ残してください)3月に45,450円になりました(7年間分)
手ぬぐいタオル	未使用のもの ▶ネパールの学校用ほか